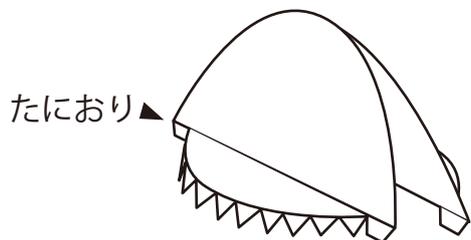
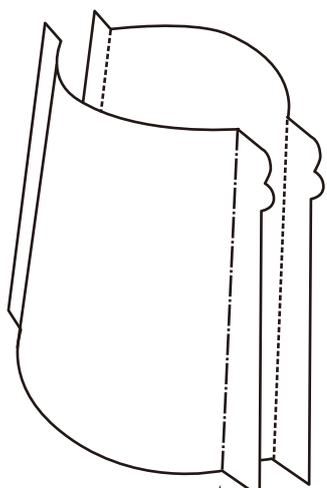


安仁神社銅鐸の概要

安仁神社銅鐸は岡山市東区西大寺一宮の安仁神社の裏山から明治26年に出土したと伝わります。扁平鈕式四区袈裟襷銅鐸に分類され、高さ31.2cmをはかります。現在、岡山県の重要文化財に指定され、県立博物館に保管されています。



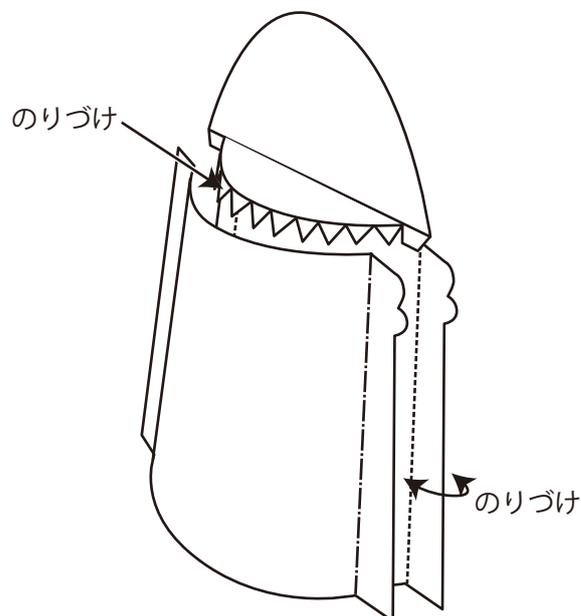
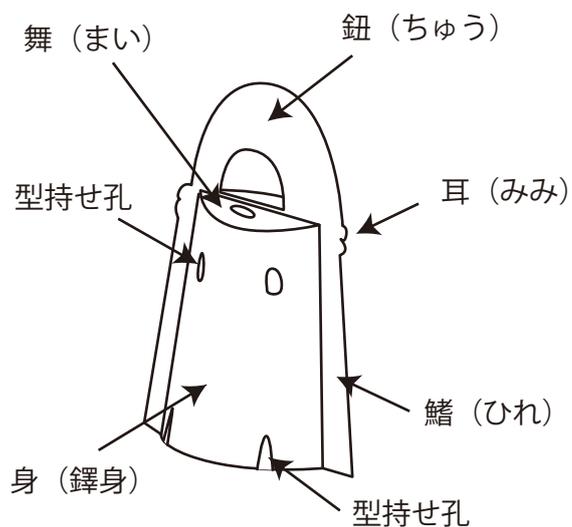
- 1 ①は鈕を表裏はりあわせて、舞の部分はたにおりします。ヒレ部分ののりしろはそのまま、舞ののりしろはやまおりします。



たにおり

- 2 ②、③は身の部分を丸みをつけて、鱭（ヒレ）部分はたにおりします。

【銅鐸各部の呼称】



- 3 ②、③の上の端を①のふちに接着します。ヒレ部分ののりしろはヒレではさみこむようにします。

- 鈕や型持た孔をくりぬくとリアルです。
- 本物の銅鐸より文様や型持せ孔をはっきり復元しています。

安仁神社銅鐸ペーパークラフトの作り方